

# 長岡市の洪水ハザードマップ及び要援護者への災害情報伝達方法について

## 1. 洪水ハザードマップについて

### (1) 事業概要

平成19年度に、国および県の補助制度を活用し、市内を4ブロックに分け、県が指定した浸水想定図に、避難情報の伝達経路、地下空間の分布、避難時の心得・持ち物、避難先の位置・名称、行政・医療機関等の連絡先等を加えたハザードマップを作成（150,000部）し、平成20年度に、市政日より5月号と一緒に全世界帯に配布しました。

### (2) 洪水ハザードマップに掲載されている河川

#### 13河川

（信濃川（大河津分水路含む）刈谷田川、猿橋川、柿川、道満川、菖蒲川、太田川、稲葉川、黒川、小木城川、栖吉川、渋海川、浄土川）

### (3) 特徴・内容

#### ① 7・13水害の教訓を生かす

##### ア 自宅内の上層階への避難を明記

避難所へ向かう途中や、寝たきり等で自宅の1階で亡くなった方がいました。動くことを最小限に抑えた自宅の2階などへの在宅避難や近くのビルなどへの高所避難を盛り込みました。

##### イ 「緊急避難地域」の設定

刈谷田川の破堤箇所から300m以内は大きな家屋被害が発生しました。このことから、浸水深が低くても避難が必要な地域を表記しました。

#### ② 対象河川数の増加

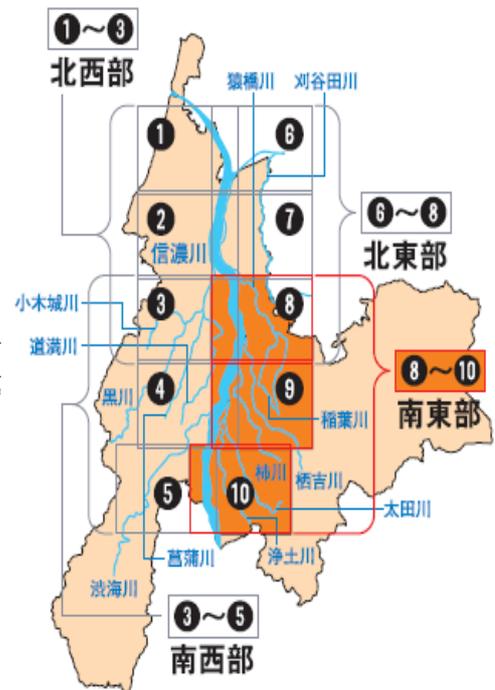
市町村合併による広域化や浸水想定区域の公表河川の増加により、信濃川を含む13河川で作成しました。（平成15年度版では、4河川）

### (4) 災害時要援護者対策

平成20年度に、視覚障害者向け・外国人向け洪水ハザードマップを作成し、視覚障害者向けは6月中、外国人向けは7月中に配布しました。

○ 視覚障害者向け・・・点字、テープ、CDのいずれかを送付（700部）

○ 外国人向け・・・英語、中国語、ポルトガル語（ブラジル人）のいずれかを送付（4,700部）



## 2. 災害時要援護者向け災害情報メール配信システムについて

### (1) 事業概要

過去の災害経験から、携帯電話のメール機能が災害時に、有効な情報伝達手段であることから、災害時要援護者への有効な情報伝達手段として、災害関連情報の迅速な伝達が図られるよう、既に長岡地域において登録者が約1万件の実績と、7.13水害や中越大地震における、災害情報や生活情報の豊富な配信実績のある、NPO法人住民安全ネットワークジャパンと連携し、平成19年度より、特に情報入手が困難な聴覚障害者等への携帯メール配信システムの構築と携帯メール配信による情報伝達体制の強化を図っています。

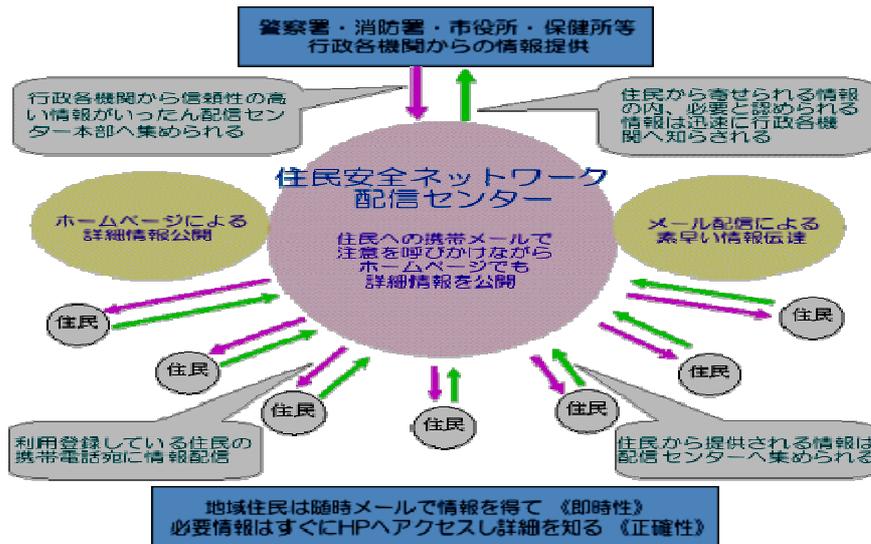
なお、平成20年度に、読み間違わないように、音声読み上げ機能を追加しました。

- 平成22年3月1日現在・・・登録者数275名（うち支援者142名）

### (2) NPO法人 住民安全ネットワークジャパンの概要

「住民安全ネットワークジャパン」は、地域住民の身の回りで起きた犯罪情報、災害情報、徘徊老人情報などの行政機関から収集する情報のほか、広く地域住民にとって有益な情報を利用者である住民の携帯電話やパソコンへ配信することによって、安全に安心して生活できる住みよい環境づくりに寄与しています。

- 認 証 日：平成16年7月9日
- 平成22年3月1日現在・・・メール登録者数：14,625名  
災害情報特派員：93名



## 災害メモリアル拠点整備 施設概要

	施設名称 (仮称)	設置予定場所	施設の概念、主な機能
拠 点 施 設	長岡アーカイブス センター	長岡市 大手通中央東地区再開 発ビルC棟2階	『「知」の集積と中越へのゲートウェイ』 ・災害、震災に関する情報センター ・「中越メモリアル回廊」全体のガイダンス
	小千谷地区拠点	小千谷市 市民学習センター 「楽集館」	『震災体験の伝承と防災学習』 ・中越大震災の伝承及び災害の疑似体験 ・防災研修、防災学習プログラムの開発
	やまこし復興交流館	長岡市 山古志地域	『震災で見直す山の暮らしと未来』 ・山の暮らしの発信と文化の伝承 ・震災前と復興の姿を発信
	絆 館	旧川口町 ゴルフ場レストハウス	『復興物語（絆）の集積と発展』 ・復興物語の伝承と感謝の発信 ・絆による地域づくり、人づくりの推進
メ モ リ ア ル 公 園	妙見メモリアル パーク	長岡市 妙見町大規模崩落現場	『祈りと宣言』 ・慰霊広場の整備
	木籠集落水没家屋	長岡市 山古志地域木籠集落	『望郷と感謝』 ・解説看板、駐車場、トイレの整備
	震央パーク	旧川口町 武道窪	『記憶と感謝』 ・散策路、駐車場の整備

## 南魚沼市における緊急告知（防災）ラジオの整備について

### ○目的

災害発生時の情報伝達手段として地域FMを利用し情報を提供する。

（現在の情報伝達手段は下記のとおり）

市 → 行政区長 → 市民

市 → 要援護関連施設

市 → FMゆきぐにへの緊急割り込み放送

広報車・消防団による広報

### ○情報伝達の手段

FMゆきぐにへの緊急割込放送時にEWS信号を発信する。防災ラジオは開始信号を受信すると自動起動し放送の受信を開始する。放送終了時は、終了信号を受信しラジオは自動的に終了（使用中は元の状態へ）する。

### ○情報の発信について

地震等大規模災害発生時

河川の氾濫の恐れがあるとき

市民生活に重大な危機を及ぼす可能性がある事象が発生したとき

### ○ラジオの仕様

別添のとおり

### ○配布計画

平成22年度配布計画

行政区長 234 個

民生・児童委員 143 個

災害時要援護関連施 70 個（福祉関連 34 病院 7 保育・幼稚園 29

学校（小・中・高・大） 33 個

消防団（幹部のみ） 35 個

国・県施設 8 個

市施設 21 個

その他施設 19 個（災害協定先・駅等）



- 平常時は普通のラジオとしてFMゆきぐにの放送を聞けます
- 電波の受信状態をLED（黄色）で表示
- 電池の交換時期をLED（橙色）点滅でお知らせ
- FMゆきぐにの緊急警報受信に対応<sup>注1</sup>
- 緊急警報に信頼性の高いEWS信号起動方式を採用
- 緊急警報放送受信時、LED（赤色）と大音量でお知らせ

## 製品仕様

受信周波数	: FM 76.2MHz (FMゆきぐに)
スピーカー	: 7.7cm 8Ω 2W
電源	: ACアダプタ 入力: AC100V、50/60Hz、出力: 5V、1A DC4.5V (単3形アルカリ乾電池3本使用)
外形サイズ	: 170 (幅) × 57.5 (奥行) × 125 (高さ) (mm)
重量	: 約 480g (単3形アルカリ乾電池3本実装、ストラップ装着時)
温度範囲	: 0~40℃ (結露なきこと)
起動信号	: EWS信号 (Emergency Warning Signal)
LED表示	: 裏面を参照してください。
ライト機能	: EWS信号受信後、約5分間、白色LEDライトを点灯
外部アンテナ	: 外部アンテナ接続用端子を装備 <sup>注2</sup>

注1. 緊急警報はラジオ単体では受信できません。FMゆきぐにが受信可能地域であることが必要です。

注2. T字形簡易アンテナ、同軸ケーブルからピンジャックへの変換ケーブルを特別標準添付しております。





ストラップ(標準添付)

電源・音量調節ダイヤル

外部アンテナ端子  
T字形簡易アンテナやTVアンテナ等からの入力端子です。

確認／照明ボタン  
通常状態でボタンを押すと照明がオンオフします。緊急放送を受信した状態でボタンを押すと大音量と照明点灯を解除します。

主要部に  
点字表示

フロントパネル  
(機能は下表を参照願います)

照明  
通常の状態を確認／照明ボタンを押すと照明が点灯します。緊急時や停電時に自動で約5分間点灯します。

主要部に点字表示

ACアダプタ入力  
通常の100Vコンセントへ

電池ケース  
単3形アルカリ電池(3本)でもご使用いただけます。

ロッドアンテナ  
長さ、方向をラジオ放送の受信状態に合わせて調整してご使用下さい。

壁掛け用フック  
壁に掛けてご利用いただく場合にご使用下さい。

注4 主要部に点字表示を付加しております。

フロントパネル LED表示

シルク	色	点灯	消灯	点滅	その他
電源	緑	電源オン	待機状態		
受信	黄	受信可能	受信不可	試験放送受信	電源オフで受信可能時は薄く点灯
緊急	赤			EWS 信号受信	
電池	橙			乾電池の容量低下	

お問い合わせ 南魚沼市六日町 106-1  
電話 025-778-1500

v.01

